

矢板市 保健事業評価分析

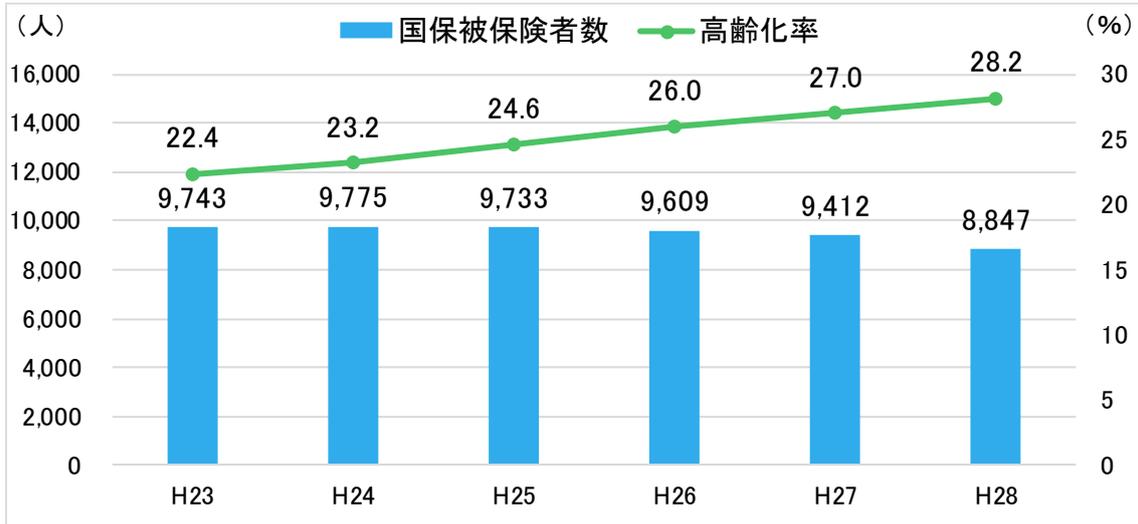
～平成 28 年度の事業評価～

目次

1	地域の特性.....	1
2	医療費の状況.....	2
2.1	医科費諸率の状況	2
2.2	総医療費における生活習慣病の占める割合	3
2.3	生活習慣病の基礎疾患の状況	5
2.4	生活習慣病の重症化疾患の状況	7
2.5	ジェネリック医薬品の利用状況	8
3	特定健康診査の状況.....	9
4	特定保健指導の状況.....	11
5	要治療者の状況.....	13
6	考察	14
6.1	地域の特性.....	14
6.2	医療費の状況.....	14
6.3	特定健康診査の状況	14
6.4	特定保健指導の状況	15
6.5	要治療者の状況	15
7	データヘルス計画書の目標と実績.....	16
7.1	特定健診の受診率向上.....	16
7.2	特定保健指導の実施率向上.....	16
7.3	要治療者の治療率向上.....	16

1 地域の特性

図表1 国民健康保険被保険者数及び高齢化率



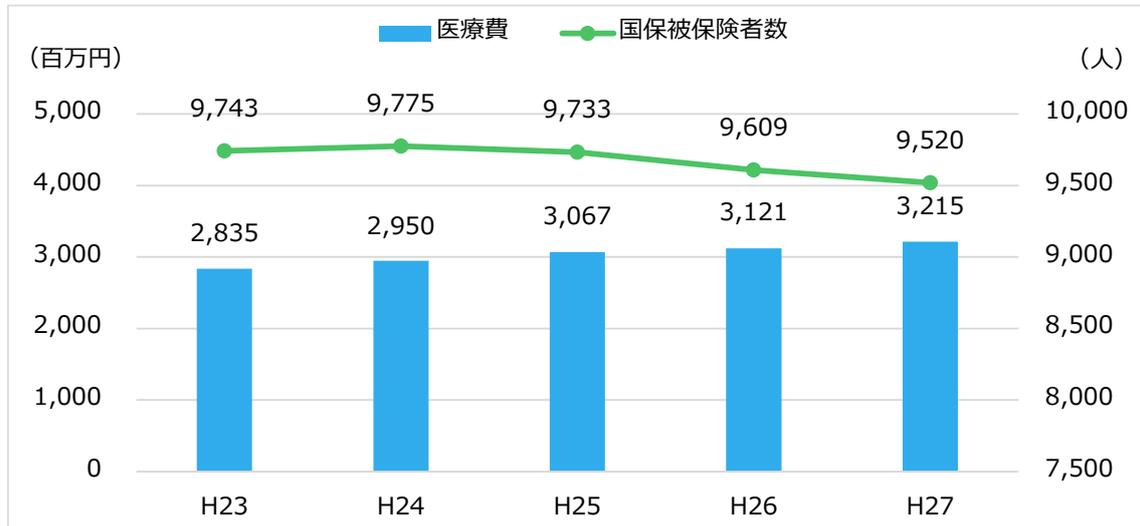
国保被保険者数は年度末時点の人数

図表2 要支援・要介護認定者及び認定率の推移



2 医療費の状況

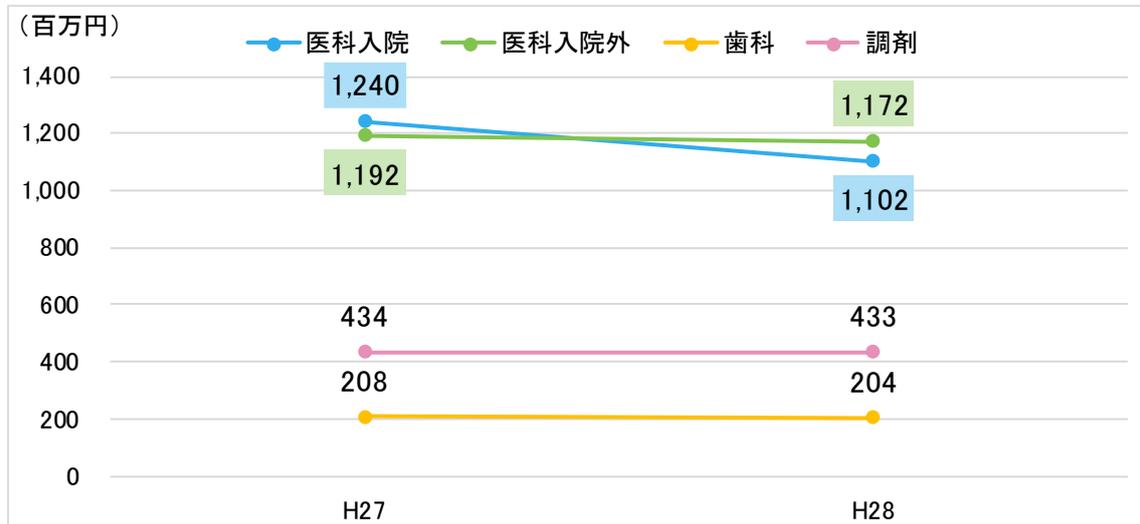
図表3 国保被保険者数と総医療費の推移



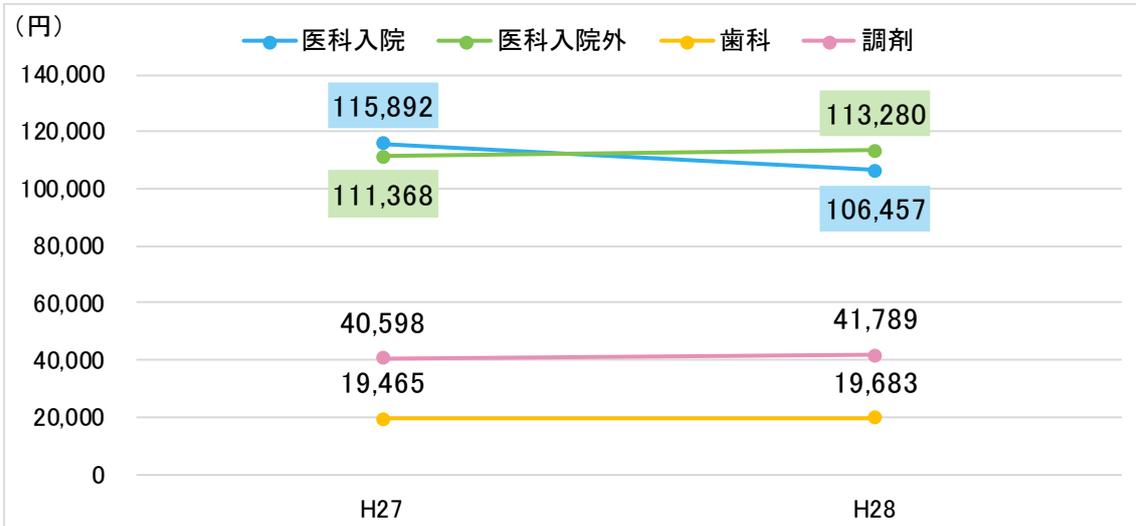
国保被保険者数は年度末時点の人数

2.1 医科費諸率の状況

図表4 医科入院、医科入院外、歯科、調剤の医療費の推移

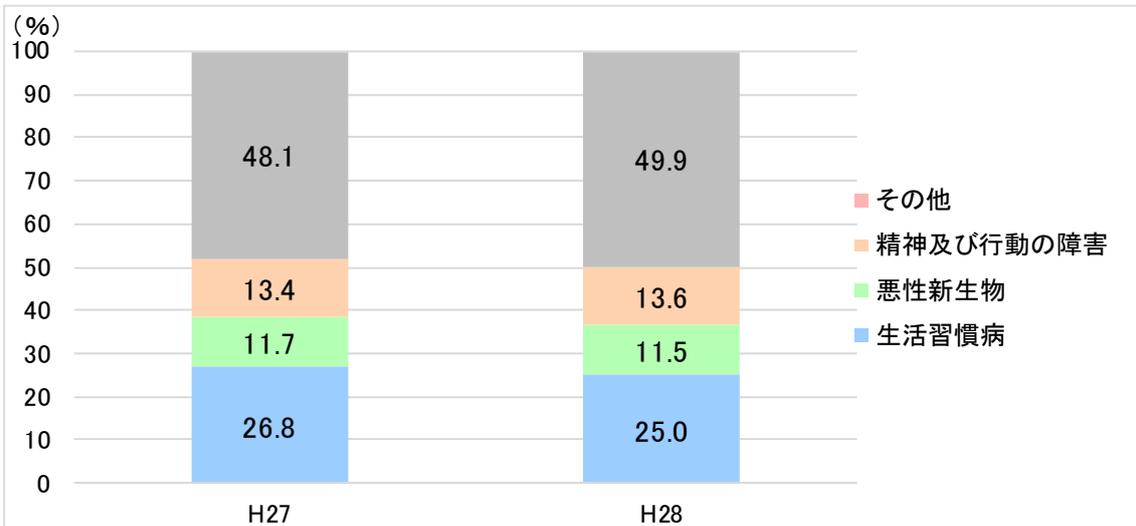


図表5 医科入院、医科入院外、歯科、調剤の1人当たり医療費の推移

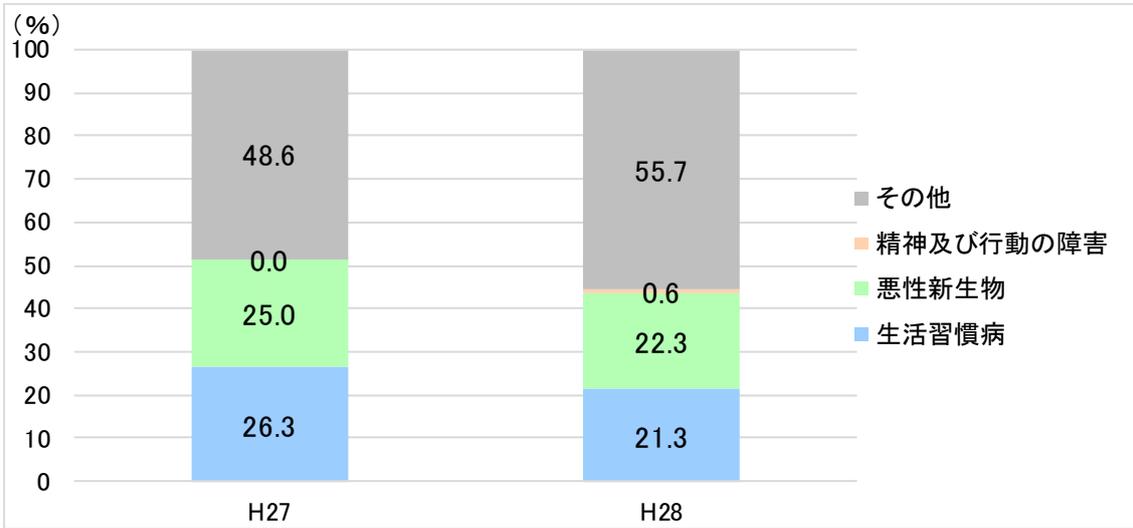


2.2 総医療費における生活習慣病の占める割合

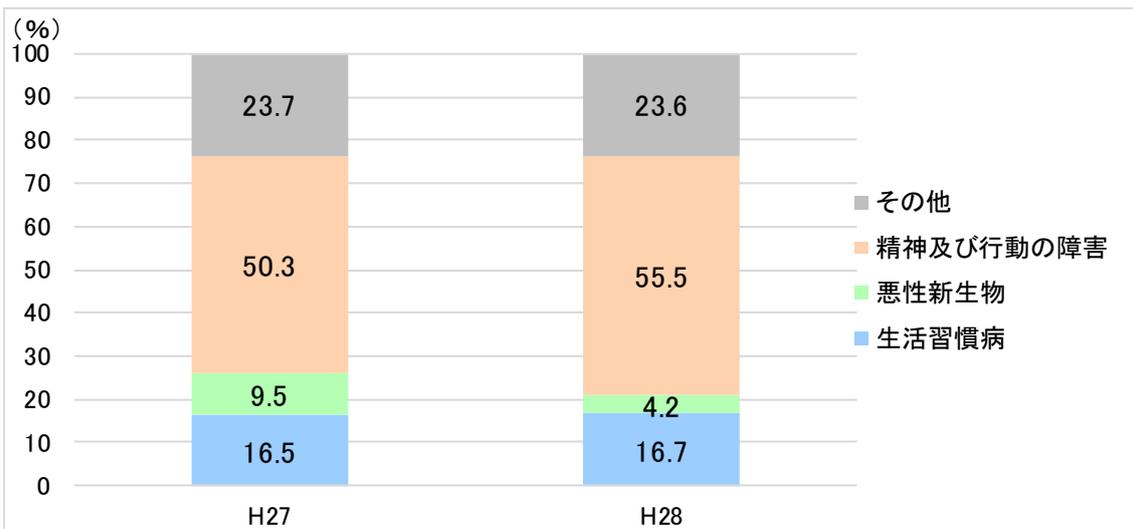
図表6 総医療費における生活習慣病の占める割合の推移



図表 7 高額レセプト（80万円以上）における生活習慣病が占める割合の推移

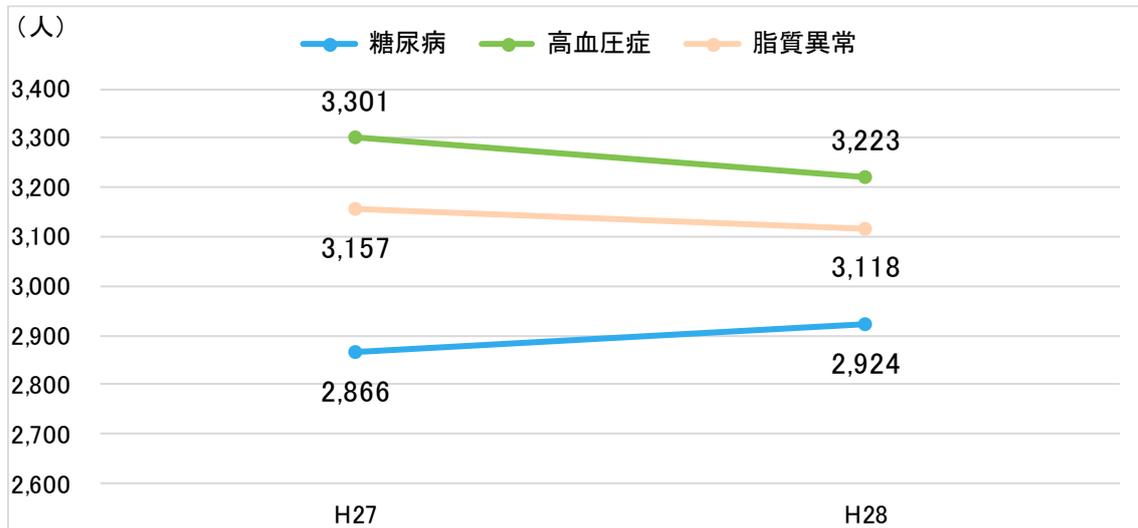


図表 8 長期入院レセプト（6ヵ月以上）における生活習慣病が占める割合の推移

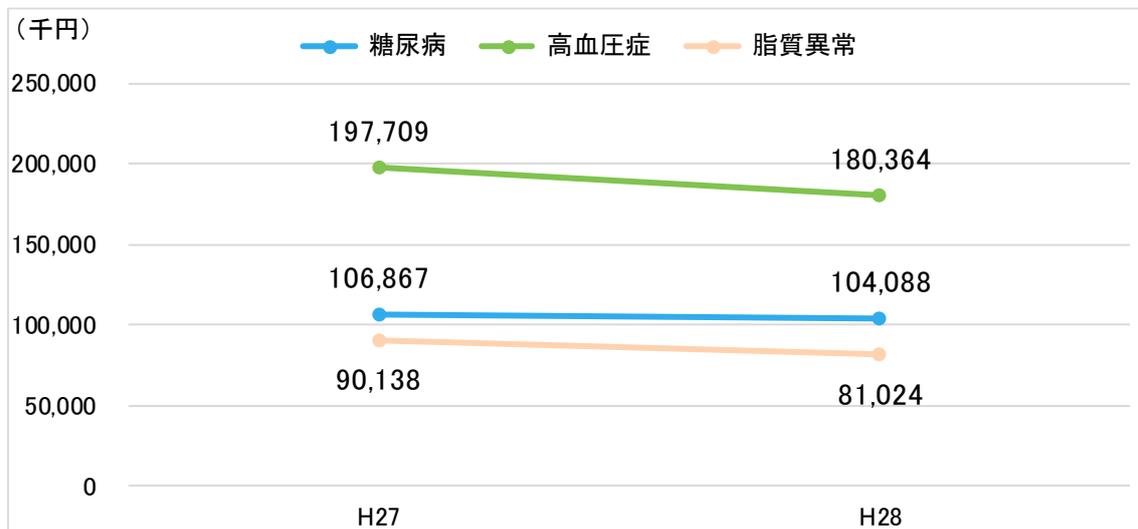


2.3 生活習慣病の基礎疾患の状況

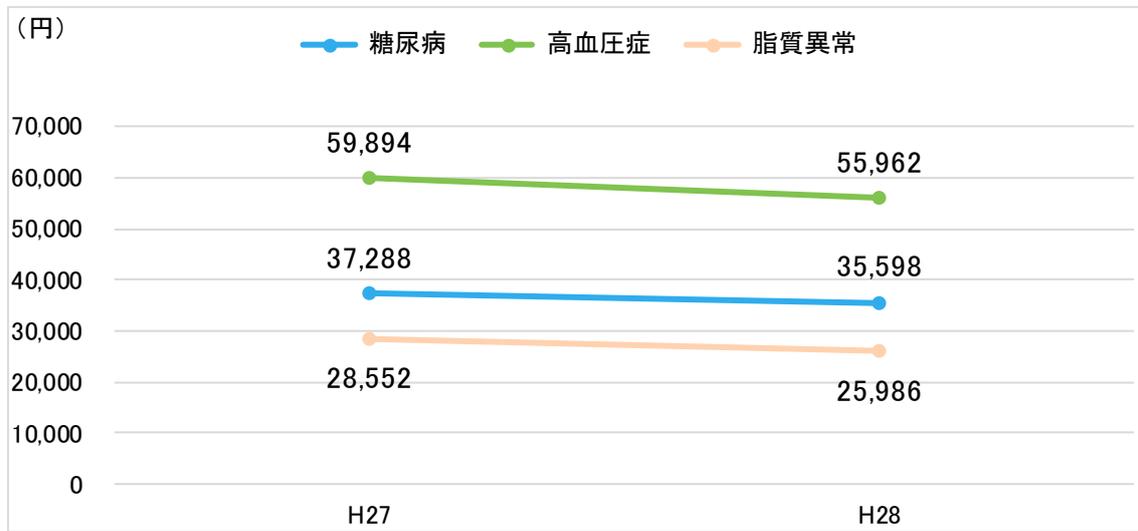
図表 9 基礎疾患の患者数の推移



図表 10 基礎疾患の医療費の推移

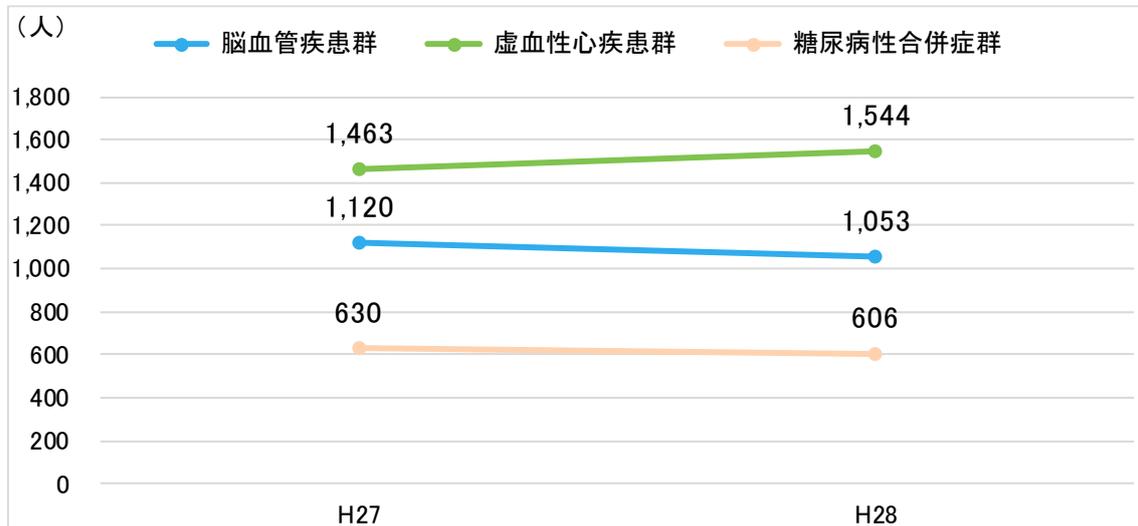


図表 11 基礎疾患の1人当たり医療費の推移

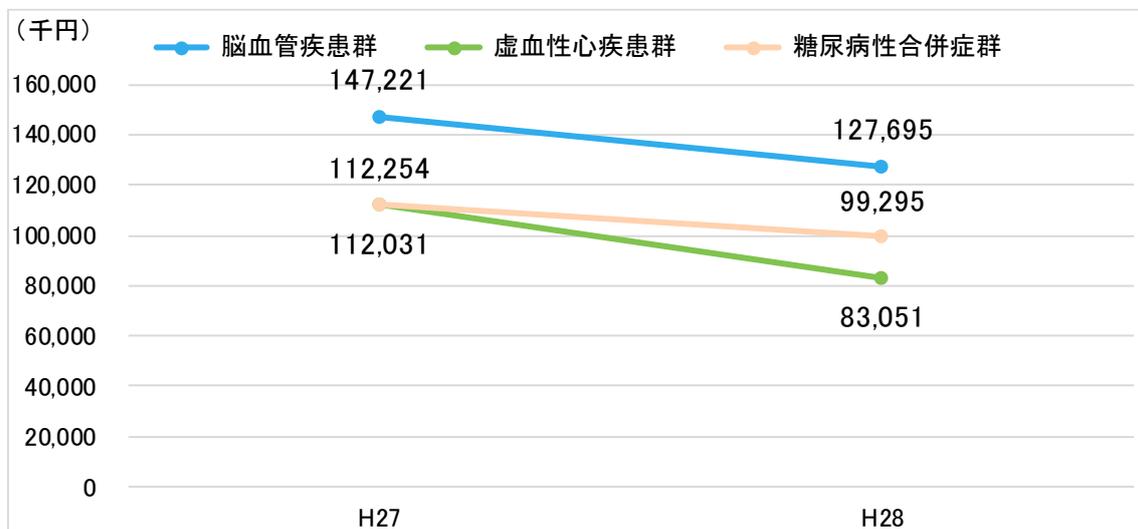


2.4 生活習慣病の重症化疾患の状況

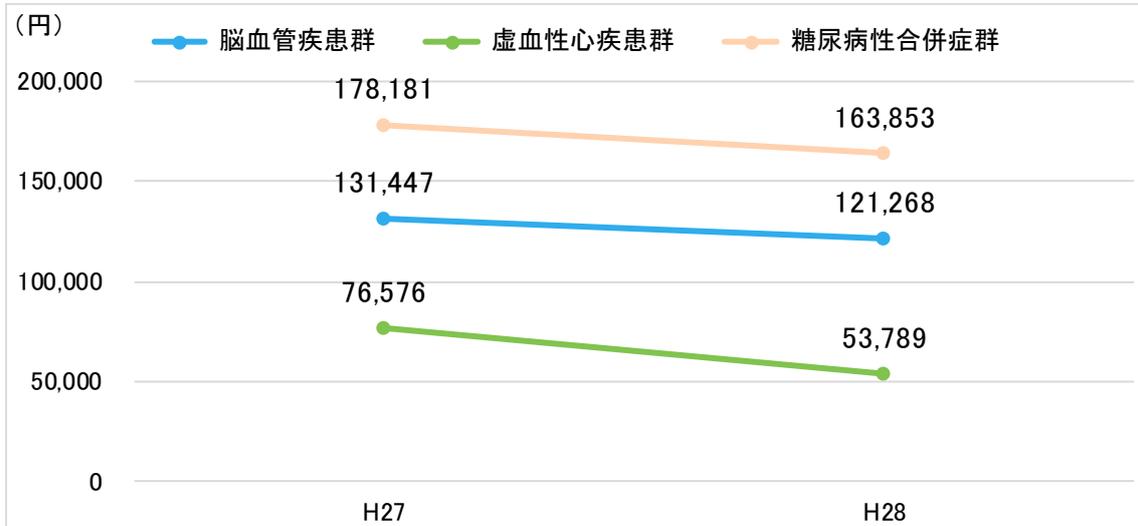
図表 12 重症化疾患の患者数の推移



図表 13 重症化疾患の医療費の推移

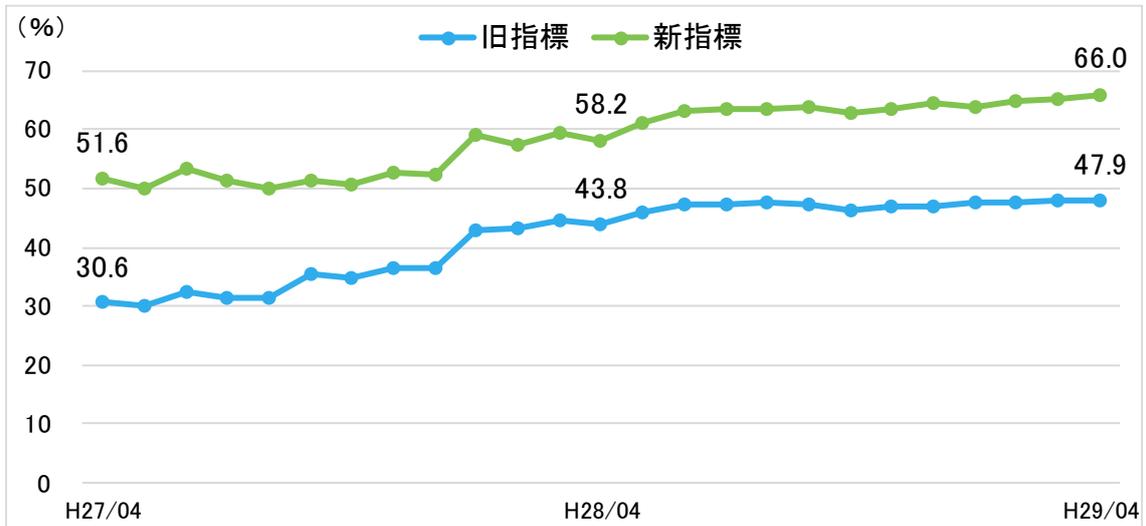


図表 14 重症化疾患の1人当たり医療費の推移



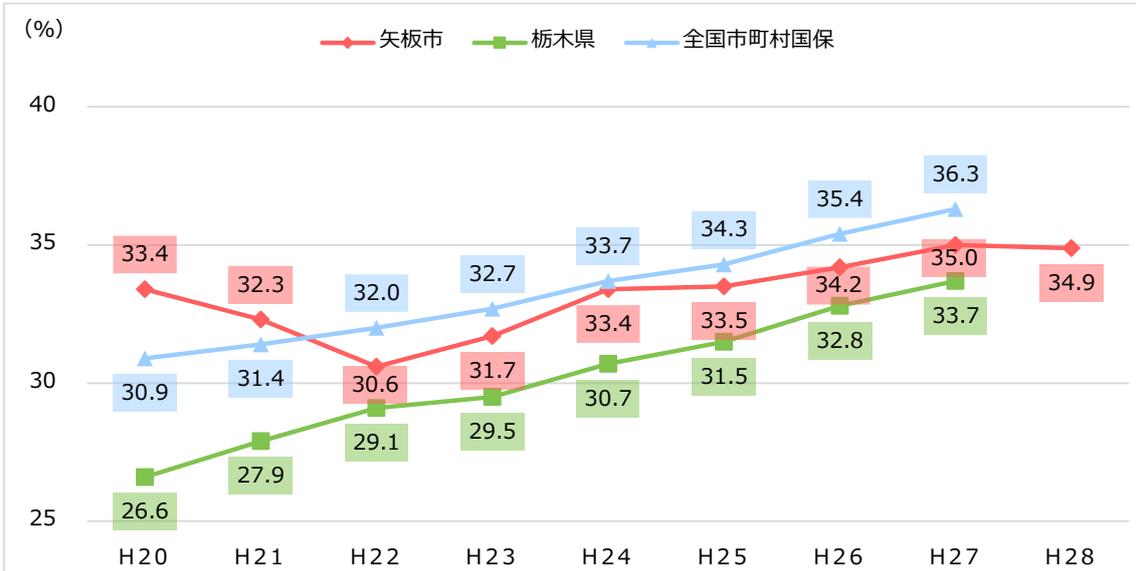
2.5 ジェネリック医薬品の利用状況

図表 15 後発品利用率の推移 (数量ベース)



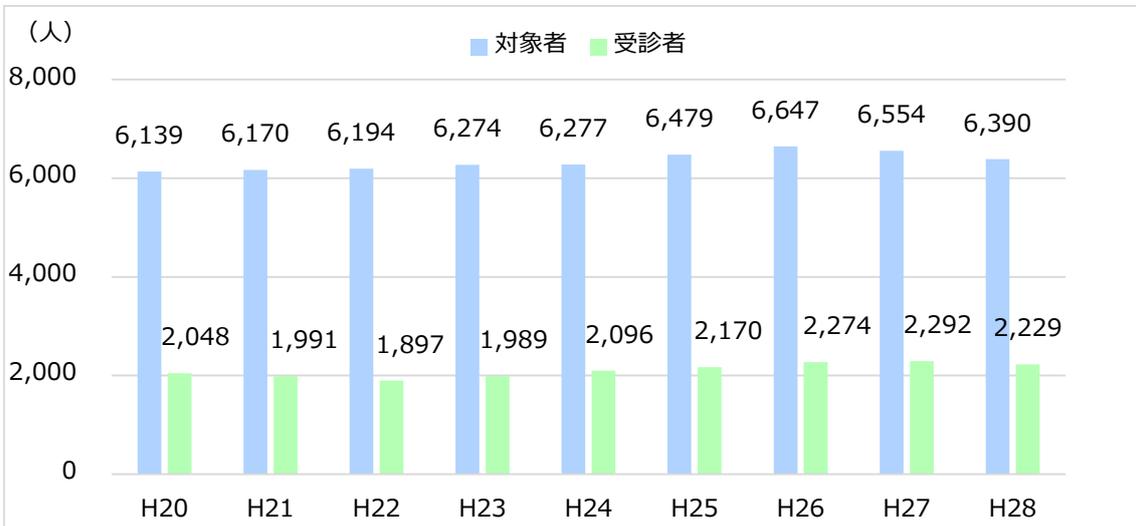
3 特定健康診査の状況

図表 16 特定健診受診率の比較



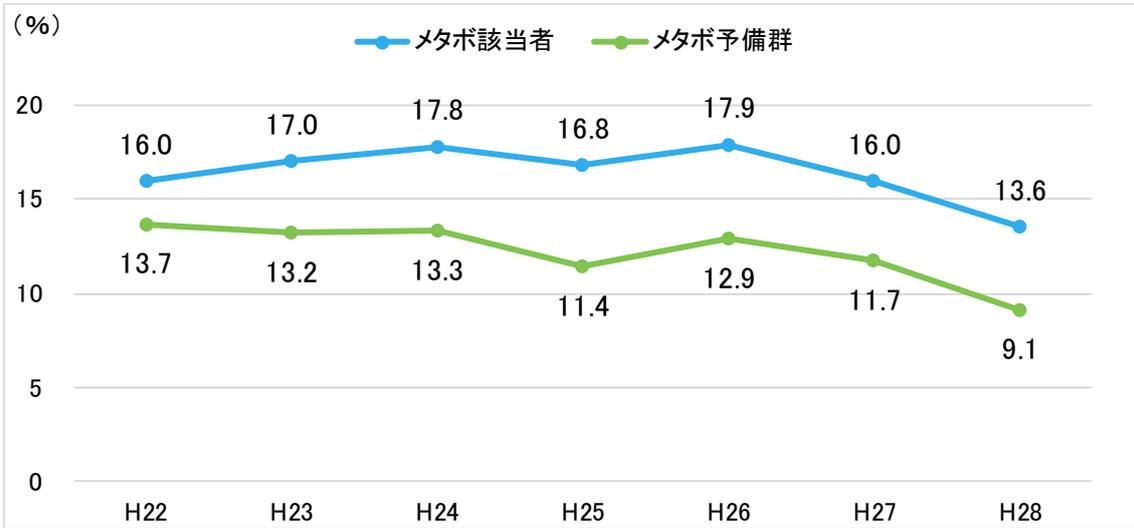
※H28の値は概算値です。

図表 17 特定健診の対象者と受診者の推移



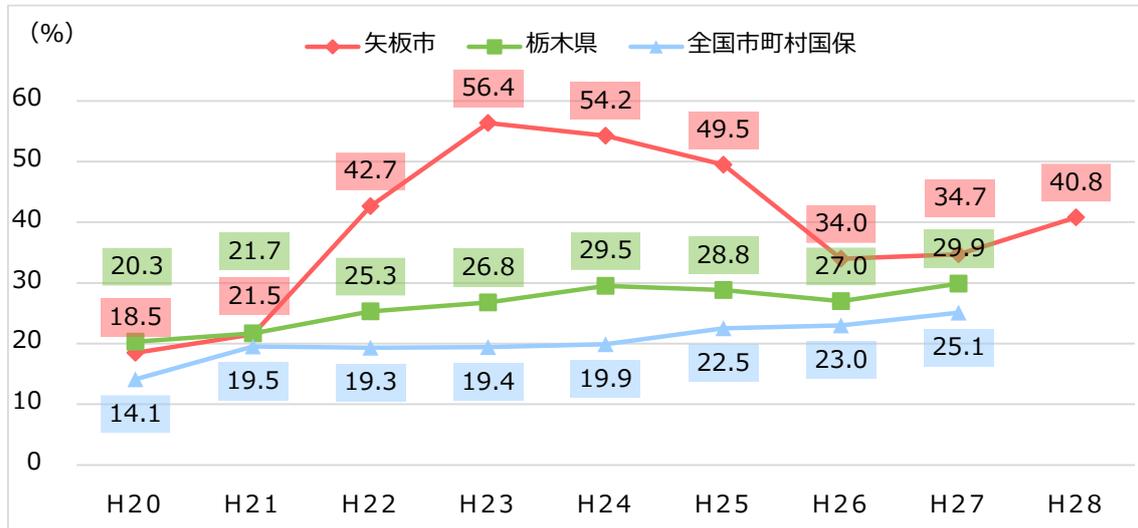
※H28の値は概算値です。

図表 18 メタボ該当者及び予備群のメタボ状況



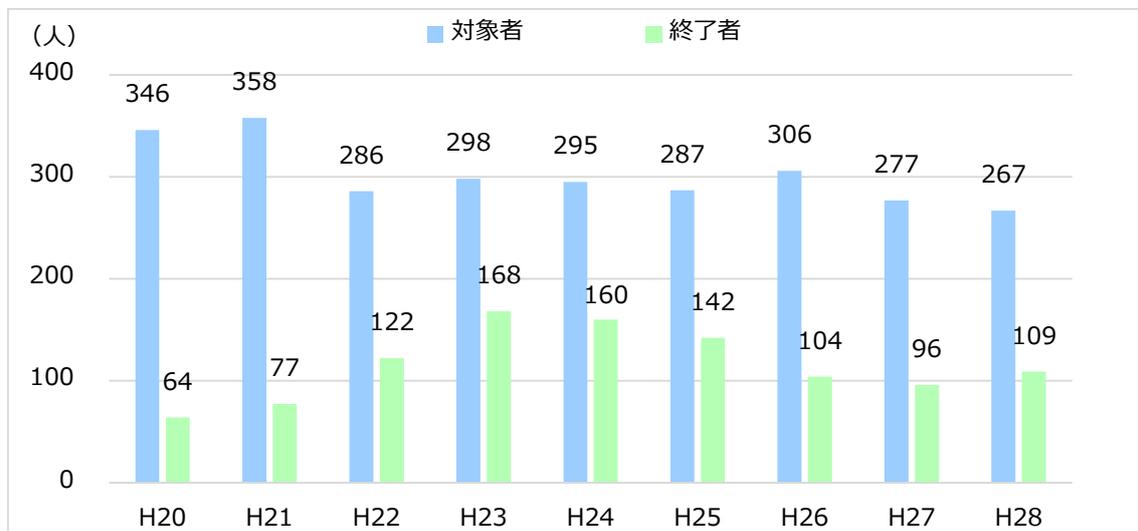
4 特定保健指導の状況

図表 19 特定保健指導実施率の比較



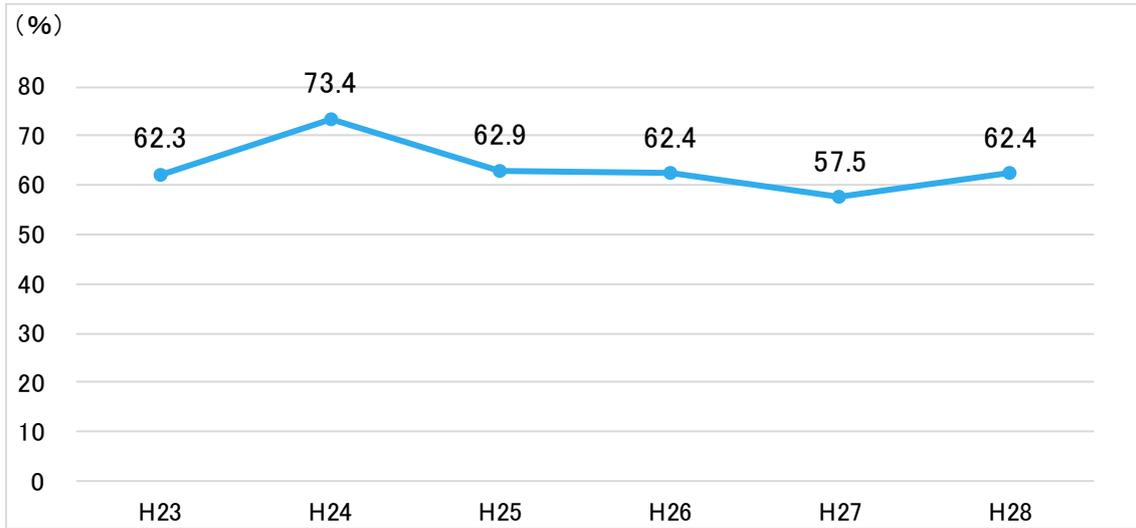
※H28の値は概算値です。

図表 20 特定保健指導の対象者と終了者の推移



※H28の値は概算値です。

図表 21 特定保健指導新規対象者の実施率の推移



5 要治療者の状況

図表 22 要治療者の治療率の推移



6 考察

6.1 地域の特性

国保の加入者数は、平成 24 年度以降減少傾向にあり、平成 28 年度は 8,847 人で前年度と比較して 565 人減少しています。高齢化率は 28.2%で前年度と比較して 1.2 ポイント増加しています。

平成 28 年度の要介護認定率は 15.4%で前年度と比較して 0.3 ポイント減少しています。

6.2 医療費の状況

平成 28 年度の医科、歯科、調剤の医療費の状況から見ますと、いずれも前年度より減少しています。しかし、1 人当たり医療費では医科入院外、歯科、調剤は増加しており、医科入院のみ減少しています。

平成 28 年度の総医療費における生活習慣病の医療費は全体の 25.0%を占めており、前年度と比較して 1.8 ポイント減少しています。生活習慣病の患者数では糖尿病と虚血性心疾患群が増加していますが、高血圧症、脂質異常、脳血管疾患群、糖尿病性合併症群は減少しています。その結果、生活習慣病の医療費、1 人当たり医療費ともに減少しています。

後発医薬品の利用率（新指標）は増加傾向にあり、平成 27 年 4 月審査時点では 51.6%でしたが、平成 29 年 4 月審査時点では 66.0%で 14.4 ポイント増加しています。

6.3 特定健康診査の状況

平成 28 年度の特定健診対象者は 6,390 人で前年度より 164 人減少し、受診者数も前年度より 63 人減少しています。受診率は平成 27 年度の 35.0%より 0.1 ポイント減少して 34.9%（概算値）となっています。

6.4 特定保健指導の状況

平成 28 年度の特定保健指導の対象者は 267 人で前年度より 10 人減少しています。終了者は 109 人で前年度より 13 人増加しており、実施率は 40.8%（概算値）で、前年度より 6.1 ポイントと大きく上昇しています。

平成 28 年度に初めて特定保健指導の対象者になった方の実施率は 62.4%で、前年度より 4.9 ポイント上昇しています。

6.5 要治療者の状況

平成 28 年度の特定健診において、いずれかの検査項目が受診勧奨値を超えた要治療の方が、生活習慣病の治療を受けた割合は 67.5%で、前年度より 0.8 ポイント減少しています。

7 データヘルス計画書の目標と実績

7.1 特定健診の受診率向上

		H27	H28	H29
特定健診受診率 (法定報告値)	目標	36.2%	38.2%	40.2%
	実績	35.0%	34.9%	-

※H28は概算値です。

7.2 特定保健指導の実施率向上

		H27	H28	H29
特定保健指導実施率 (法定報告値)	目標	36.0%	38.0%	40.0%
	実績	34.7%	40.8%	-

※H28は概算値です。

7.3 要治療者の治療率向上

		H27	H28	H29
要治療者の治療率	目標			
	実績	68.3%	67.5%	-